

2023年度マルチマテリアル・シンポジウムのご案内

ご挨拶

国立研究開発法人産業技術総合研究所 マルチマテリアル研究部門は、これまでの幅広い材料研究の経験を活かし、「材料とプロセス」の効率的な組み合わせの実現と「部材の構造 (Design)」により、機能性、リサイクル性を付与した新たな材料 (マルチマテリアル) を社会実装することを目指しています。昨今の社会課題である循環型社会の実現には、サーキュラーエコノミーやカーボンニュートラルの視点を取り入れた材料研究からの取り組みが不可欠であり、今年は「循環経済 (サーキュラーエコノミー) の実現に向けたマルチマテリアル研究」をテーマとしたシンポジウムを開催いたします。お気軽にご参加いただけましたら幸いです。

開催日時 : 2023年11月22日(水) 13:30-16:20

開催方法 : Microsoft Teams によるオンライン講演会

主催 : 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 マルチマテリアル研究部門

申込方法 : WEB の開催案内の申込フォームよりお申し込みください。後日、招待メールを送付させていただきます。

(URL) <https://unit.aist.go.jp/mmri/ja/events/mmrisympo2023.html>

申込期限 : 2023年11月17日(金)まで

参加費用 : 無料 (通信費用などは参加者負担)



- * 開催 URL は 11 月 20 日頃のご案内を予定しております。
- * 講演の録音・録画・スクリーンショットによる撮影等は禁止とさせていただきます。
- * シンポジウム参加時は主催者の指示にしたがって、通信環境や機器調整等をお願いいたします。

マルチマテリアル研究部門 シンポジウム事務局
(e-mail) M-mmri-symposium-ml@aist.go.jp

【プログラム】

13:30-13:35 挨拶

13:35-14:20 招待講演

「サーキュラーエコノミーと資源循環－経済学の視点から」

立命館大学 教授 笹尾 俊明 先生

概要：サーキュラーエコノミー（循環経済）の基本的な考え方と背景を踏まえ、循環経済の要となる資源循環について経済的視点から掘り下げる。3R (Reduce・Reuse・Recycle) 以外のアプローチにも触れ、日本型循環経済のあり方を展望する。

14:20-16:15 マルチマテリアル研究部門の研究紹介

◆全体紹介 (14:20-14:25)

「マルチマテリアル研究部門のサーキュラーエコノミーに関する研究」

マルチマテリアル研究部門 研究部門長 堀田 裕司

◆トピックス紹介 (14:25-15:40)

「木質循環複合材料の成形技術とマルチマテリアル化」

木質循環複合材料グループ 関 雅子

「リサイクル炭素繊維の評価技術開発とその標準化」

ポリマー複合材料グループ 杉本 慶喜

「アルミニウムの高度リサイクルを可能にするアルミニウム/CFRP 接着体の易解体技術」

軽量金属プロセスグループ 古嶋 亮一・尾村 直紀

◆各グループからのシーズ紹介 (15:40-16:15)

「セラミックスおよび金属との接合材料の診断技術および AI 技術の適用」

セラミック組織制御グループ 福島 学

「データ駆動型材料プロセス開発のための技術シーズならびにその適用事例」

軽量金属設計グループ 下島 康嗣

「易成形性マグネシウム合金の開発」

軽量金属設計グループ 黄 新ショウ

「金属の凝固組織形成過程のその場観察」

軽量金属プロセスグループ 志賀 敬次

「超音波キャビテーションとファインバブルの適用による低環境負荷型の洗浄」

木質循環複合材料グループ 辻内 亨

「粉体プロセス最適化に役立つ相互作用力測定技術」

ポリマー複合材料グループ 佐藤 公泰

「セラミック成形におけるセルロースナノファイバーの利用技術の開発」

セラミック機構部材グループ 近藤 直樹

16:15-16:20 閉会の挨拶